

## ◆「鎌倉の世界遺産登録についてのアンケート」結果◆

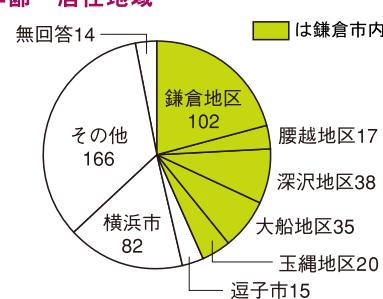
# 『登録は、鎌倉の文化財や環境を守るために』

本年1月に行った「鎌倉の世界遺産登録についてのアンケート」には県立鎌倉高校からの200通以上を含む489通の回答をいただきました。アンケート調査検討実行委員会でまとめた結果を一部抜粋し、4年に亘る推進協議会の活動の成果と、今後の広報活動の課題が明示される内容であったことをご報告します。

回答は、男女ほぼ同数、居住地域は鎌倉市内と市外半々でした。年齢別では、高校生の回答が多くなこともあり、20歳以下が半数近く、61歳以上の関心も高いものの、20代～30代の関心は低いことがわかり、緊急の課題に挙げられました。

### ●回答者の性別・年齢・居住地域

男	244人
女	236人
無回答	9人
20歳以下	227人
21～40歳	26人
41～60歳	54人
61歳以上	165人
無回答	17人



全体としては、鎌倉の世界遺産登録のコンセプトが浸透し、登録の必要性にも深い理解が得られています。講演会等の活動にも関心が高く、積極的に参加したいとの希望が寄せられており、市内外を問わず行ってきた4年間の活動の成果を実感しました。

なお、各候補地に行った人が必ずしも推奨したいと答えていないことも大きな課題として受け止めました。鎌倉の文化遺産それぞれの価値について理解を深めてもらえるように、ガイドブック作成など今後の広報活動に生かしていきます。

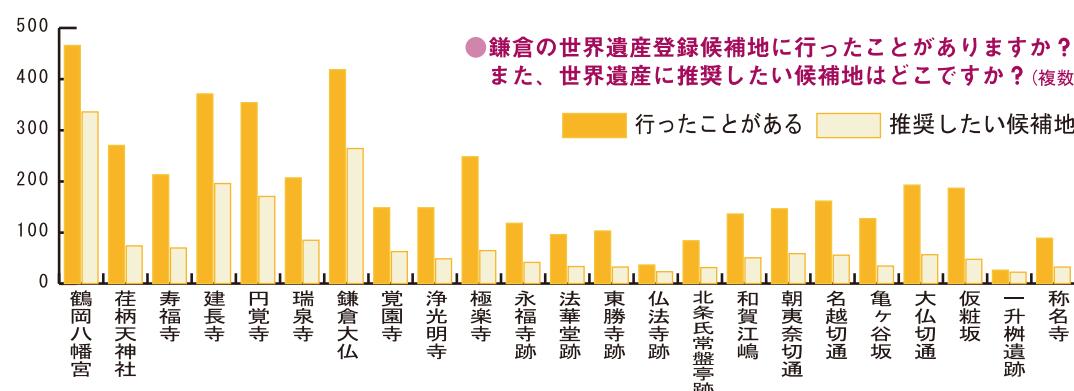
詳細は、別途発行する報告書をご覧ください。

### ●鎌倉のどのようなところが最も世界遺産にふさわしいと思いますか？(複数回答)

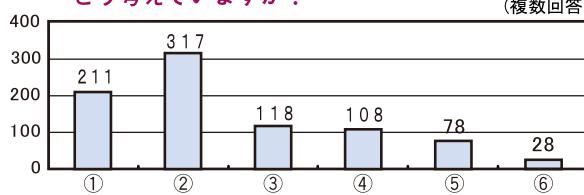


- ①武家文化発祥の地という歴史がある
- ②鶴岡八幡宮や大仏など古い神社が残っている
- ③法華堂跡(源頼朝墓)や永福寺跡、切通など史跡がたくさんある
- ④みどり深い谷戸や山・海が残っている
- ⑤その他

### ●鎌倉の世界遺産登録候補地に行ったことがありますか？(複数回答) また、世界遺産に推奨したい候補地はどこですか？(複数回答)

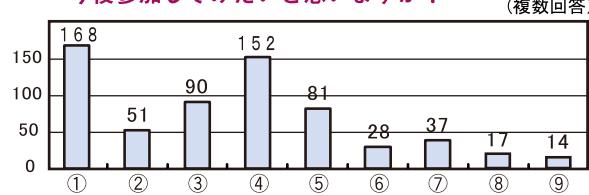


### ●鎌倉の世界遺産登録の必要性についてどう考えていますか？(複数回答)



- ①鎌倉の文化遺産を広く知ってもらえる
- ②鎌倉の文化遺産を守り、後世に伝えることが出来る
- ③観光資源として活かすことが出来る
- ④市民の誇りとなる
- ⑤よい町づくりができる
- ⑥その他

### ●鎌倉の世界遺産登録のどういった活動に今後参加してみたいと思いますか？(複数回答)



- ①講演会や講座
- ②市民の集うワークショップ
- ③写真・絵画などのイベント
- ④鎌倉の良さを知り、人々に語り伝える
- ⑤史跡の保存清掃活動
- ⑥活動資金の援助
- ⑦ニュース等を作る広報活動
- ⑧協議会活動や運営に参加
- ⑨その他



# めざせ世界遺産登録 あなたも参加団体で活動しませんか？

## 地元を知って世界遺産登録

神奈川県理容生活衛生同業組合鎌倉支部

鎌倉・逗子・葉山の理容店が親睦・技術交流を目的に50年近く活動して、現在94店が参加し、ボランティア活動として老人福祉施設や病院での散髪もしています。



高野山 一の橋にて

最近ではもっと地元の歴史や文化を知ってお客様に提供できればと思い、広報部会長の内海恒雄さんを講師にお願いして、鎌倉の歴史や文化の勉強会を夜の8時45分～9時50分に5回開きました。鎌倉時代以前から始まって、鎌倉の世界遺産についてや鎌倉時代の文化とか、逗子・葉山も含めた寺社・史跡から別荘・文化人とか横須賀線の駅や松竹撮影所・大船観音などまでいろいろ楽しく学びました。

また寿福寺・英勝寺とか妙本寺・上行寺などの公開されない本堂などを特別に拝観し、建物や仏像等の細かい見方や素晴らしさが良く分かりました。

顧問の飛田勇さんは、「国際都市鎌倉が世界遺産登録をめざしていることが良く分かりました。今後ももっと鎌倉の歴史や文化を知って、鎌倉の遺産が全人類のものとして残されるよういろいろな人に話しかけていきたい」と話しています。

## 登録推進活動に積極参加！

鎌倉市市民活動センター運営会議

平成10年5月、日本で初めてとなる公設市民運営による「市民活動センター（通称：NPOセンター）」が、鎌倉と大船の2館同時にスタートしました。その運営・管理を指定管理者として担っているのが、鎌倉市市民活動センター運営会議です。このセンターにはまちづくりの推進や文化・芸術・スポーツ振興、環境保全、保健、医療、福祉の増進など17分野・383団体が登録しており、現在は特に市民活動と地域との連携を視野に幅広いコーディネイトに力を入れています。

世界遺産の活動では平成20年より、毎年春に主催している「かまくら市民活動の日フェスティバル」には推進協議会のブースを作り、候補地の内容や協議会の活動に関するパネル展示・Tシャツ、散華の販売などに協力しました。また、大船と鎌倉のセンターに推進協議会の広報誌や参加団体と共に講演会などのパンフレットを置いて、訪れる方々に呼びかけています。

事務局長の渡邊さんは「鎌倉のまちづくりや環境保全に携わっている個々の団体と手を携え、鎌倉の素晴らしい風致を守る運動に協力したい。その一環になれば」と話していました。



市民活動フェスティバルでの参加団体PRコーナー

## 古都鎌倉の世界遺産登録って

なに？

## 第16回 北条氏常盤亭跡はなぜ世界遺産候補地か？

古都鎌倉の世界遺産登録って  
なに？

北条氏常盤亭跡は、鎌倉幕府第七代執権北条政村や第八代執権北条時宗の連署（執権の補佐役）北条義政らの別邸跡と伝えられている遺跡です。

遺跡は鎌倉西側の重要な交通路である大仏切通の近くにあります。北条氏はこのような交通の要所に一族の館を造り、交通路の支配と防御の拠点としました。屋敷地は谷を切り開いて造り出されており、現在でも斜面を垂直に切り出した切岸を見ることができます。平地の少ない鎌倉での、当時の土地開発の状況をよく表しています。

昭和五二年～五三年（一九七七～一九七八）に発掘調査が行われ、屋敷の一部と考えられる礎石建物跡のほか、金銅製の水滴や石製の硯などが発見されました。『吾妻鏡』には、北条政村の館で將軍らを招いて和歌会を催したとの記載があり、これらの遺物との関連も窺えます。史跡指定地の最東部谷戸は「タチンドイ」と呼ばれており、「館の台」が転訛したものとの説もあります。この谷戸の奥には、中世の墳墓の一形態である「やぐら」も良好に残っています。

武家政権の中核を担った北条氏一門の館の跡が、谷戸とそれを取り囲む山稜と一体となって、ほぼ当時の地形のままに今も残っている貴重な遺跡が、北条氏常盤亭跡なのです。